

## 「今帰仁村第5次総合計画（案）」意見公募の結果について

実施期間：令和4年12月1日（木）～令和4年12月28日（水）

意見件数：26件（5通）

意見内容及び意見に対する村の考え方：以下のとおり

### ＜意見対応区分＞

A：ご意見を踏まえ、案に反映したもの

B：ご意見の趣旨が案に沿ったものであり、ご意見の趣旨を踏まえ、取り組みを推進するもの

C：今後の参考にするもの

番号	意見内容（該当箇所：パブリックコメント時点報告書）	意見に対する村の考え方（ページ数：更新版報告書）	対応
1	<p><u>（該当箇所：P40 水産業の振興）</u></p> <p>・もずくの養殖だけでなくかつて大漁に収穫されていた白ひげウニの養殖もおこなっていただき、海の名産品にしたい。糸満では、白ひげウニの成長を促すエサを開発し、養殖が軌道に乗ってきたの報道されています。海がこんなに身近にある今帰仁村ならもっと大量に美味しいウニを育てられるはずです。港の整備、養殖の支援を行い、広報誌で村民にお知らせすることで、漁業への関心も広く伝えていって欲しいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業だけでなく、特に第一次産業については将来を見据えた方向性を示すこと、「稼ぐ」産業づくりが重要と考えております。</li> <li>・様々な支援事業を活用しながら、ご意見いただいたようなウニの養殖事業や港の整備等を順次検討していく予定です。</li> </ul>	B
2	<p><u>（該当箇所：P43～44 商業の振興）</u></p> <p>・商業振興に向けた環境整備でインターネット高速通信網の活用強化を掲げているのであれば、村内事業者の情報化推進（DXの推進による生産性の効率化と技術革新）も総合計画に盛り込んで欲しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見のとおり、DXの推進による生産性の効率化と技術革新は、産業振興に向けては重要な観点と考えております。そのため、P54, 55 1) ①「商業振興支援の強化」において、村内事業者の情報化推進やデジタル化の支援を図る旨追加しました。</li> </ul>	A
3	<p>・「各種制度活用による意識醸成」に、「商工会による経営相談体制の強化・拡充」を加えて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見のとおり、地域商店等の自立促進や意識醸成においては商工会との連携が不可欠なため、P54, 55 2) ①「各種制度活用による意識醸成」において、商工会による経営相談体制の強化・拡充を図る旨追加しました。</li> </ul>	A
4	<p><u>（該当箇所：P43～44 有機的に連携した商工業振興）</u></p> <p>・「小売業者を業種別にみると、飲食料品小売業が約半数を占めていますが、減少傾向にあります。」の根拠を示す表および出典を添付して頂きたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいたご意見は計画の記載内容は概ねご賛同いただいております。各施策について、具体的にどのように推進するのか明確にしてほしい旨のご意見と拝察いたします。</li> <li>・本計画は今後10年間の村の施策全体を示し、行政運営の基本となる計画です。様々な分野の施策や事業を総合的かつ計画的に進めるため、長期的な展望を持った指針として策定します。</li> </ul>	B
5	<p>・「今後も、行政と商工会の連携推進や～」を行うフロー図を示して頂きたいです。</p>		

番号	意見内容（該当箇所：パブリックコメント時点報告書）	意見に対する村の考え方（ページ数：更新版報告書）	対応
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「小規模事業者の育成」はどういう育成を行うのが文章では読み取れないため詳細を希望します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのため、いただいたご意見のとおり具体的な取組内容が読み取りづらいものもありますが、本計画に基づく詳細・個別具体策は、10年間の計画期間の中で、担当課が中心となり検討し、実施します。</li> <li>本計画に基づく詳細・個別具体策の検討にあたっては、いただいたご意見を参考に進めてまいります。</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「各集落のマチャグァーの個性化」とは具体的にどのようなものでしょうか。それと各集落のマチャグァーが年々高齢化していることは明らかなので（若い経営者が運営していない）、個性化とは結び付きにくいと感じられます。</li> </ul>		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>「創業支援計画の策定」が村担当課においては未策定の状況であることから早急に策定をお願いします。これにより、小規模事業者持続化補助金の補助上限が増額になる特別枠で申請できます。</li> </ul>		
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>「各集落にある地域商店については～環境の維持保全に努めます。」の具体的な施策を示して頂きたいです。読み取りによっては地域商店だけが優遇されるような意味合いとして感じられます。</li> </ul>		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域商店の自立促進」の自立促進を具体的に説明して頂きたいです。</li> </ul>		
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>「成果目標」の現状値の出典をより詳しく示して頂きたいのと、目標値における商工会員数の根拠を表わして頂きたいです。また村全体の商工業者数も明らかにしなければ、どれ位の事業者が存在しているのか不明のままになります。</li> </ul>		
12	<p><u>（該当箇所：P45～46 加工業・製造業の振興）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加工業・製造業の振興で、「生産体制や設備整備等への支援」を掲げているのであれば、村内産品の県内外への販路開拓支援も総合計画に入れて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のとおり、村産品の販路拡大は今後の本村の産業振興においては必要不可欠な要素と考えます。そのため P54, 55 2) ②「観光・リゾート産業等との連携」及び P56 1) ①「既存加工業・製造業の活性化」において、販路拡大と PR に関する記述を追加しました。</li> </ul>	A
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>「各種制度活用・交流事業の活用」に、「商工会による経営相談体制の強化・拡充」を加えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見のとおり、加工場等の自立促進や経営者の意識醸成においては商工会との連携が不可欠なため、P56 2) ①「各種研修制度・交流事業の活用」において、商工会と連携した経営相談体制の強化・拡充を図る旨追加しました。</li> </ul>	A

番号	意見内容（該当箇所：パブリックコメント時点報告書）	意見に対する村の考え方（ページ数：更新版報告書）	対応
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共同化・協業化」は同業種による経営の合理化・活性化の考え方であるので、「商工会活動拡充による連携強化」に「事業者間の連携による新たな商品開発の取り組み支援」や「農商工連携や六次産業化の推進」を入れて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化の推進強化、新たな商品開発による産業振興等は、今後より推進していくべき施策の一つと考えております。そのため、いただいた意見をもとに、P56 2) ②「商工会活動拡充による連携強化」へ追記しました。また、P48 3) ①「6次産業化の推進」に農商工連携等の記載をしております。</li> </ul>	A
15	<p><u>（該当箇所：P45～46 加工業・製造業の振興）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「本村の加工業・製造業（工場）事業者数については近年大きな変動はありませんが、従業者数、粗付加価値額については増加している状況です。」の根拠を示す表および出典を添付して頂きたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見番号4～11と同様。</li> </ul>	B
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生産・流通環境の整備や必要な設備の近代化を促進し」の整備および近代化とは具体的にはどのようなことを行うのでしょうか。</li> </ul>		
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>「成果指標」前述意見（意見番号11）と同じ。</li> </ul>		
18	<p><u>（該当箇所：P47 むらに根付く産業の継承と強化）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「村特産物を活用したい事業者等に対し、ニーズを踏まえた」は誰からニーズを取得するのでしょうか。そしてそれはいつ頃でしょうか。</li> <li>全般的意見として仲宗根地区を中心市街地としての顔づくりに努めるならば、同地区の再開発を含めた抜本的な改革が必要であると考えますがいかがでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に北山文化圏センター整備基本計画策定業務を行っていません。新庁舎建設に伴う周辺公共施設の再編や既存施設の有効活用を含め、仲宗根地区一帯を今帰仁村の魅力を活かした交流拠点としての利活用に向け、現在整備計画の策定を検討中です。</li> </ul>	B
19	<p><u>（該当箇所：P47～48 むらに根付く産業の継承と強化）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の活性化のための主要施策として、新規創業者や新たなビジネス展開に取り組む事業者を支援する取り組み（チャレンジショップや貸工房・体験工房等）を総合計画に入れて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見の通り、新規事業者等への支援は今後注力していくべき取組と考えております。創業支援について P58 1) ①「中心市街地の活性化」へ追記しました。また、本計画としても「雇用対策の推進」として、雇用に関する項目を新たに設けております。</li> </ul>	A
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光以外のサービス産業の振興の視点が抜けている。ネイルサロンやエステ等の美容系や映像制作・写真、マリンスポーツ等従来の今帰仁村に少なかったサービス業態が村内でも増えてきているが、サービス業は製造業と比較して生産性が低いことから、「サービス業の生産性向上を図る取り組みを支援する」ことを総合計画に入れて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス業に関しては P54, 55, 56, P58, P60～62 にご指摘いただいた「サービス業への支援」の観点も含めて記載しています。</li> </ul>	B

番号	意見内容（該当箇所：パブリックコメント時点報告書）	意見に対する村の考え方（ページ数：最新版報告書）	対応
21	<p><u>（該当箇所：P49 自然と歴史をつなぐ観光振興）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンゴの養殖を村をあげてバックアップし、エコツーリズムと合わせて観光資源としていただきたい。読谷村のサンゴ畑の金城浩二さんの活動は、恩納村ビーチリゾートのダイビングショップで養殖ダイビングの流れに繋がり、沖縄中南部で広がる取組みとなっています。世界で初めて養殖に成功した沖縄は世界中から期待されています。観光業と合わせて稼げるエコツーリズム、意識を変革させる力を持っていますので、ぜひ村の協力のもと推し進めていって頂きたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、特にエコツーリズムやウェルネスツーリズムに重点を置いた観光振興を実施していきたいと考えています。観光協会や近隣市町村、関連団体とも連携しながら本村に求められる役割を検討し、より本村の魅力である自然を活かした観光を提供できる場づくり・体制づくり等を支援していきます。</li> </ul>	B
22	<p><u>（該当箇所：P52～53 雇用対策の推進）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の地域産業担い手の育成を図るため、雇用のミスマッチ解消による安定的な雇用環境の整備の取り組みを総合計画に入れて欲しい。（特定地域づくり事業協同組合制度の活用等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安定的な雇用環境の整備の取り組み」の観点も含め、P64 1) ②「選ばれる雇用環境づくり」へ記載しています。</li> </ul>	B
23	<p><u>（該当箇所： P126 分野横断プロジェクト ③脱炭素社会を見据えたむらの形成 P70 環境負荷の少ないむらづくり）</u></p> <p>低公害車の導入だけでなく、村でエネルギーを自給自足できるよう、具体的に目標を掲げて頂きたいです。車社会の今帰仁村では、ガソリン代の値上がりが生活に直結します。天然ガスの輸入に頼っている沖縄電力は、電気代が2021年に比べ、2023年には比1.5倍に値上げされると発表されています。こうした燃料やインフラの急激な価格上昇は、ほぼ全ての村民の生活や産業を逼迫しています。そこで、今帰仁村内でエネルギーを自給自給することを目指してはいかがでしょうか。今帰仁村には海がありますし、山もあります。家畜もたくさんいますし、風も吹きます。太陽のエネルギーは大きいし、自然エネルギーに溢れています。長崎県の五島では市をあげてEV車を導入、そして洋上風力発電を売電しておりますし、秋田では行政のバックアップのもと、発電の会社を立ち上げました。今帰仁村内でもエネルギーの自給自足は可能だと思います。具体的には、風力、潮力、バイオマスといった自然エネルギーを考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の社会を見据えた場合、脱炭素社会は重要な要素となると考えています。そのため、本計画でも分野横断プロジェクトの一環として、「脱炭素社会を見据えたむらの形成」を項目として掲げ、村で横断的に取り組んでいく必要があると認識しています。まずは身近なところから低公害車の導入を進め、その後にご意見いただいたような自然エネルギーの積極活用等を検討していきたいと考えております。</li> </ul>	B

番号	意見内容（該当箇所：パブリックコメント時点報告書）	意見に対する村の考え方（ページ数：更新版報告書）	対応
	<p>クラブを立ち上げ、そこに助成をし、勉強会を開いたり、自然エネルギーの講師を招いて講演会を開くところからはじめてはいかがでしょうか。次に小規模の実験を始め、公民館や学校といった公的施設への電力供給で実証し、出来ることから1歩ずつ進めていって頂きたいと思います。エネルギーが自給自足できれば企業誘致もできますし、エネルギーを生み出すための雇用も創出されますし、村民の所得が上がらずとも支出が減るので金銭的にも豊かになります。脱炭素社会に向け、ぜひご検討お願いいたします。</p>		
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案作成への村民の意見、アンケートの情報がみえない。1～2年前に送付されたアンケートに回答した覚えがあるが。</li> <li>・現状の把握ができていないか疑問である。腰を据えてジックリと作成したほうが良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画は今後 10 年間の村の施策全体を示し、行政運営の基本となる計画です。</li> <li>・いただいたご意見のとおり、計画策定にあたっては現状把握と村民の皆様の意見の把握が重要と考えております。そのため、令和3年度から各種統計の調査、観光協会や商工会等の関係団体との意見交換等を通じて十分な現状把握を行っています。</li> <li>・また、村民の皆様の意見を把握するため、アンケート調査を実施し、村民、学生、村職員から 1000 件を超える回答をいただいております。なお、当初は村民の皆様と複数回のワークショップ等も計画しておりましたが、感染症拡大防止の観点からやむなく中止としました。</li> <li>・今回の計画策定にあたっては、これらの現状把握や村民の皆様の意向を踏まえるとともに、有識者や関係団体からなる審議会を設置し、審議会でのご意見も踏まえ、案を作成しております。</li> <li>・さらに、本計画の案について、多くの村民の皆様に周知するとともに協働のむらづくりの機運を高めるため、計画案の概要を村広報に同封する形で全世帯に配布を行っています。</li> <li>・なお、計画書のあとがきとして計画策定にあたっての経緯を追加しました。</li> </ul>	A
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何のために計画をつくるのか」目的を明確にして行う必要がある。施策の評価と予算編成の流れも見える化したほうが良いのでは。</li> </ul>		
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の改定期。全面的に改定する場合その時がきて、村民意志決定を図ることができ計画の実効性を高めることができ、村民参加・協働によるむらづくりが期待できるのでは？</li> </ul>		